

福祉情報誌

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

平成28年10月18日(毎週火曜日)増刊 AJU通巻12390号

昭和54年8月1日低料第三種郵便物認可

発行所/東海身体障害者団体定期刊行物発行協会

名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

AJU自立の家

第144号

2016年10月20日

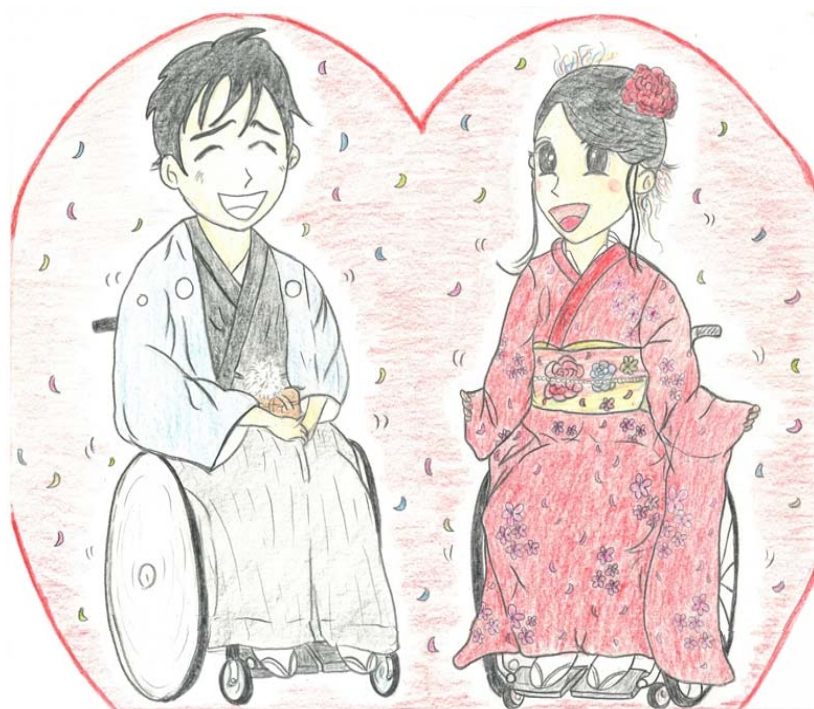
定価250円

編集/社会福祉法人AJU自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行/AJU車いすセンター
わだちコンピュータハウス
連絡先/〒466-0025
名古屋市昭和区下横町1-3-3
わだちコンピュータハウス内
TEL(052)841-9888
FAX(052)841-3788
E-mail: f-joho@aju-cil.com

テーマ



「change」
書 高橋 誠



絵 平良隆志

はじめの一步をふみだしたあなたへ

- インクルーシブ教育
私が決めた道
地域の学校へ の巻1
- ひろがれ福祉
今こそ、すべての人に情報保障を！5
- 体験レポート
着物 de 車いす！！8
夏季自立体験プログラム 201611
いこいの村に行ってきました！！13
- かつきのページ.....15
- 福祉用具のリサイクル情報16
- 旅の空から.....17
- トラベル情報.....20
リフトカー利用の
バンコク5日間の旅 (個人旅行)
京都の秋
新名所將軍塚「清龍殿」を訪ねて
他
- 読者のこえ・いろいろ情報.....22
ひかり鍼灸院 東洋医学体験談
入院中のヘルパー派遣について
第3回成人脳性マヒ者2次障害相談会
ずっと続けてく被災障害者支援
東北⇔関西ポジティブ生活文化交流祭
障害者権利条約・東京2020オリパラ
対応のバリアフリー法の改正を！
他

私が決めた道 地域の学校への巻



こんにちは、編集委員池山です。松葉杖と車いすを併用して生活しています。私の息子は発達障害（自閉症スペクトラム）で小学校は支援学級に籍を置いてみましたが、別の教室で学ぶスタイルに違和感が出てきました。それは通常学級の子たちは息子がどんな支援を受けているのか知らずに過ぎてしまい、息子もみんなと関わりを増やすことで、人間関係やルールを学んでほしいと思うようになりました。しかし、息子がうまくやって行けるのか不安は消えなかったため、新聞で知った名古屋「障害児・者」生活を考える会（以降考える会）へ相談に行き、中学から通常学級へ戻しました。といった記事を一年前に書きました。

この「考える会」に相談へ初めて行った時、久野藍里さんを知りました。彼女のお母さんは高校受験のことで相談にみえていて、そのお母さんが私に「子供は経験を積んで育つものだから大丈夫よ」と背中を押してくれた一人です。その後、彼女が公立高校を受験して、二浪という苦難を乗り越えながら今年見事合格したことを知り、これまでどんな気持ちで彼女が歩んできたのかを知りたくて取材を申し込みました。今号と次号の2回に渡り彼女の歩みをお届けします。

久野藍里（ひさのあいり）さんプロフィール

脳性麻痺、名古屋市在住。日常は電動車いすで移動し、生活のほとんどに介助が必要です。



Q. 小学校はどうでしたか？

藍: まだ幼くて自分で進路は決められないので親が決めました。家から車で約 25 分離れた、肢体不自由児の支援学級がある地域の学校へ入学しました。通級というかたちで音楽と英語と給食は通常学級へ行くのですが、支援級の子が一度に全員参加するのではなく、一人ひとり順番に参加するといった感じでした。私の番が回ってくるのは1週間に1回くらいで、今週は音楽、来週は英語、次週は給食という感じでした。低学年の時は楽しいと思っていたけれど、5年生くらいから私もみんなと一緒に勉強がしたいと思い始めました。支援級ではあまり勉強を重視されず、「小学校は勉強するところなのに遊びがメインなのか？」って思いました。

母: 支援級に籍を置いている軽度障がいの子（独歩で移動できる子）たちは、朝の会以外すべて通常学級へ行っていたので、娘は「なんであの子

たちだけはいつも通常学級にいけるの？ いいなあ〜、私もあの子たちみたいに通常学級に沢山行きたい。」と言っていました。娘が不満を感じていたので、「対応が不平等では？」と娘の気持ちも含めて学校に伝えてみましたが、なかなか理解されず、障がいの程度に対する不平等感はなくなりませんでした。

Q. 中学校はどのように決めましたか？

藍: 地域の友達も沢山つくりたかったし、もっと普通に学びたかったから、親に希望を伝え支援級ではなく、学校区の中学校に入学しました。ところが、地域を離れていたため友達ができなくて、でも1年の担任には恵まれて親身になってくれました。

2年になると男子からからかいがあり、クラスメイトも見えて見ぬふりをされるので、だんだん頭にきて、副担任に「明日の朝の会に、みんなの前で私の思いを話させて下さい。」とお願い

しました。当日、居てほしかった担任はお休みでした。まず、自分の障がいについて説明をしてから、日頃の男子の態度や不満をぶちまけました。するとクラスの雰囲気は引いてしまい、その場にいた副担任は何もフォローしてくれず、それどころか後になって副担任に「あの言い方はきつかったんじゃない?」と言われ、ますます孤独を感じ、すごく精神的にきつかったです。母も担任に抗議してくれましたが状況は変わらず、体調に変調をきたしている日々不安を感じ、「つらいなら支援学校にかわる?」と心配してくれました。でも自分で決めたことなので最後までやりとおそうと思ったし、きっといつか良い日が来ると思い踏ん張りました。

秋頃、2年の体育の先生が産休に入るようになりました。体育は見学ばかりだったのに、新たに赴任した先生は障がいのある生徒を受け持った経験があり、私に「とりあえずやってみようか?」とバドミントンの授業で風船を羽根の代わりにして挑戦させてくれました。創作ダンスの授業では、「あなたはどうしたいの?」と考えさせてくれて、友達の中に入れなかった私の背中を押して見守ってくれたので、友達と一緒に踊ることができました。初めて私を認めてくれた先生で、一筋の光が見えてきて唯一体育の時間が楽しく、徐々に自信がついていきました。

中学校生活最後の一年ぐらいは楽しい思い出を残させてやりたい。せめてもの思いで母が校長に「3年の担任には1年の時の担任か、唯一授業の参加を工夫してくれた体育の先生にしてください」と要望を出してくれました。すると3年は母の要望どおりにその体育の先生が

担任になりました。常に対等に接し、自分でできることは自分でやり、できないこと



は一緒に考えてくれました。学校側の工夫があれば授業は何でもあたりまえに参加できることに気づかせてくれたのです。次第



に気持ちが明るくなるにつれて友達が自然とできていきました。

修学旅行の介助は担任と添乗員さんと母で連携しながら私を助けてくれました。考えてみれば2年の宿泊学習で稲武へキャンプに行ったのですが、そのころの学級は落ち着かず、学級崩壊に近いような状況で、障がいへの配慮もなく、私は精神的にボロボロでしたので、それに比べたら3年は友達もできて修学旅行も満喫できたし、本当に楽しい一年間でした。

Q. 高校はどのように決めましたか?

母: 2年の夏に高校は支援学校を薦められました。まだ進路は早いのでは?と思いながら、その頃から「考える会」に相談するようになりました。そこで名古屋市立中央高校の情報をお聞きしました。決め手は中学校3年間を校舎のバリアに苦しめられてきたので、まずはハード面がバリアフリーだということにとても魅力を感じました。また授業も単位制で、車椅子生活で身体に負担のかかる娘が自分のペースで学べ、最長6年間在籍できるので、この高校しかないと思い受験させることを決めました。

藍: 中央高校の学校説明会に行き、校舎がバリアフリーで移動がスムーズだったのと、障がいのある私が自分のペースで無理なく学べそうだったので、この高校を受験したいと決めました。そして絶対、合格するのだという気持ちで受験勉強に励みました。受験日は障がいによる配慮を受け、受験時間も45分を1.5倍の68分に延長してもらい、別室で担任の先生に代筆をお願いしました。前期、後期と受験したのですが、合計4回不合格になってしまいました。

母:試験配慮については「考える会」の方々と一緒に教育委員会へ行って交渉を重ねて実現しました。もし、私一人だったらとても交渉は難しかったと思います。仲間がいたからこそできたと思っています。

Q. 不合格となってどうしようと思ったのですか？

母:正直、他に選択肢がなかったし、特別支援学校の道も考えなかったわけではありません。ハンディが重いがために幼稚園から小学校までずっと避けられてきましたので、そんな社会に対してあきらめていました。しかし合格発表に「考える会」の方もかけつけてくれて、中央高校校長に不合格の理由の確認と、今後の交渉をしてくれました。すると聴講生として通わせてくれる約束を取ってくれたのです。「考える会」の方に「来年も受験を挑戦させてあげて、あきらめないで！」と力説され、聴講生のパンフレットを渡されました。

娘の落ち込みはひどく、私達も途方に控えていました。何日か悩んだ末、聴講生の話を持ちかけてみると、それまで暗く沈み込んでしまっていた娘が「少しでも可能性があるなら聴講に行きたい！」と、即座に答えました。そしてその瞬間、沈んでいた表情がパッと明るい顔になり、その表情を見たとき、娘の人生を親の一存で決めてしまっただけだと思いました。

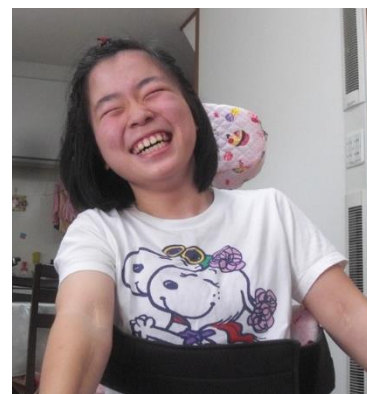
藍:受かることしか考えていなかったです。私は小学校の6年間のうちに障がいを理由に特別に用意された場所には絶対に行きたくなかったから、母から聴講生の話を聞いて即行くと決め、そしてある目標をたてました。

中学は消極的だったので、これからは積極的になり、発信していこうと思いました。中央高校に週5日（1日2コマ）聴講生として通い、13人の友達を作りました。



Q. どのように通ったのですか？

藍:最初は母が送り迎えをしてくれました。途中から一人でゆとりーとライン（専用の高架軌道を走るバス）とJRを利用して通いました。その時、母は心配したけど、私は楽しかったです。



母:私が途中から体調をくずし、介助体制を整えました。娘は複数のヘルパーさんに関わらないといけなくなり、ストレスを抱えるようになりました。そこで同じ当事者の方と話ができるといいと思い、知人のつてを頼ってAJU車いすセンターの内海千恵子さんを紹介してもらいました。

藍:偶然ですが、3年の担任が前に「障がいの生徒さんを受け持ったことがある」と言っていたのですがなんと驚いたことに、それが紹介された内海さんだったのです。それから先輩と呼んでいて色々相談に乗ってもらい、先輩の姿が私の新たな目標になりました。

Q. 2年目の受験はどのようにしたのですか？

藍:2年目も3年の担任に入試の介助（代筆）をお願いしました。今回の入試は、手応えを感じていたので、今度こそは合格すると思ったのですが、またも前期、後期とも不合格になってしまいました。

高校から、2年目の聴講について提示されました。最初は友達と年が離れていくので劣等感が生まれるのではないかと思います、2年目は受けず、家にこもりひたすら受験勉強するつもりでした。3年の担任に聴講に行くか行かないか相談すると、「やってみないとわからないでしょ」という言葉に押され、2年目の聴講は週2日、月・木でしたが通ってみたら心配していた劣等

感は生まれませんでした。

中央高校一本にしぼることで3浪の危険性もあったので、定員割れの公立高校も見学に行きました。しかし、車椅子利用の私にとっては通学のアクセスが大変だし、校舎もバリアだらけで、学校の対応もひどかったので中央高校一本に絞ることにしました。

母:「考える会」から滑り止めとして定員割れの公立高校も進められ見学に行きましたが、僻地すぎてバスは1時間に1本しかなく、アップダウンもかなりきつい場所にありました。これではあまりに通学に時間がかかりすぎるし、おまけに校舎はバリアだらけなので、この学校は車椅子利用の娘にとっては絶対に無理だと思いました。選択肢の幅がなく3浪も覚悟で再び中央高校1本に決めました。



Q. 3年目の受験は?

藍:入試の介助者をお願いした先生と何度も受験のシミュレーションをして、いよいよ3/15が5回目の受験日でした。「315でサイコーの日にしよう!」と周囲に励まされて挑みましたが、合格してみせるという気持ちと、落ちたらどうしようという気持ちが交互に来てその後もご飯がのどを通りませんでした。

3月に合格発表で受験番号があり、最初は合格したことが信じられませんでした。3年の担任にも電話をして「先生のおかげで受かることができました。」とお礼を伝えました。中学校の教頭先生や校長先生も必死で応援してくださり、合格発表が午後からと事前に伝えていたはずなのに、「結果はどうでしたか?」とあわてて午前中に電話してくるほど心配してくれました。

まとめ

「考える会」の会報で藍里さんのお母さんが彼女の様子やお母さんの気持ちは知る事が出来たのですが、彼女の思いが聞きたくて仕方ありません

でした。今回ようやく彼女と会うことができ、自分の10代の頃を思い浮かべながらお話を伺ったのですが、「私は何も考えてなくて人の目ばかり気にしていたなあ〜、それに比べたら藍里さんはなんて自分の考えをしっかりとっている子なのだろう」と感心しっぱなしでした。お母さんも彼女の思いを尊重してくれていました。たいていの親は本人がこうしたいと訴えても、「そんなの無理でしょ?」とあきらめさせてしまう親の壁が存在します。でも、一番悪いのは「障がいがあるとできない」と決めつけてしまう世の中の風潮に責任があるのかもしれないね。

高校生活についても、お話をお聞きました。
次号をお楽しみに。(ˆoˆ) /



今こそ、すべての人に情報保障を！

愛知障害フォーラム（ADF）地域フォーラム

名古屋市北区役所講堂にて

～愛知県手話言語・コミュニケーション条例（仮称）とは～

基調講演

『明石市における手話言語・障害者コミュニケーション条例』

兵庫県明石市福祉部福祉総務課障害者施策担当課長

金 政玉 氏



兵庫県明石市は、全国で始めて、コミュニケーション支援も含んだ条例を、平成 27 年 4 月に施行。金さんはこの条例を「明石タイプ」とおっしゃっておられましたが、この「明石タイプ」の条例ができているところは、千葉県習志野市と兵庫県小野市。もうじき兵庫県加古川市も加わる予定…。そして、政令指定都市の北海道札幌市が現在検討中。もし愛知県で施行されれば……なんと都道府県では愛知県が初めてになるのです！！

そこで今回は、9 月 10 日に行われた ADF 地域フォーラムの金さんの基調講演をご紹介します。

手話言語条例じゃないの？～明石市～ 『手話言語・障害者コミュニケーション条例』

私が障害者施策担当課長にちょうど着任したころ、兵庫県ろうあ者大会があり、泉房穂（いずみふさほ）市長が、「明石市でも手話言語条例を検討していきたい」との趣旨の挨拶をされ、明石市でもつくっていくのだと期待が高まっていくということがありました。明石市としては、手話言語は前提の話だが、コミュニケーションにおいて、障害によって非常に困難な状態に置かれている方も含めて、応援して行く条例作りに取り組むと考え、ろうあ協会や役員の皆さんにも説明を行いました。

当初、明石ろうあ協会や役員の皆さんは、手話言語条例だと思われていたし、「手話と点字等と一緒に混ざり合うような条例では、コミュニケーション手段の意味が薄められてしまうのではないか」と心配をされていました。そこで、「条例をコミュニケーションごとに章だてを分けてつくることは十分に可能であるし、手話と点字が交じり合う条例にはならずにはできる」とお伝えしました。「コミュニケーション支援やその場面で、困難な状態に置かれているという障害のある当事者の方々が一

緒になり、条例づくりに向けて協力して取り組んでいることが、何ととっても意味があり、そのことが市民の皆さんにも共感を得て理解を深めることにもつながるのではないかとご説明しました。ろうあ協会の皆さんも、「そういうことであったら、みんなと一緒に協力しながら条例を作っていく」とおっしゃっていただき、考え方として、足並みを揃えて取り組んでいかせてもらうことができました。

「明石タイプ」誕生！！ ～障害者差別解消のための第一段階～

明石市では、手話言語・障害者コミュニケーション条例を、「障害者の差別を解消するための第一段階の取り組みとして位置づけよう」という考え方がありました。

条例検討委員会を平成 26 年 9 月～11 月の間に 4 回開催し、委員は 10 名で行いました。

検討委員会に入る前に、各委員の皆さんに個別に面談をすると共に、「コミュニケーション場面で、どんなことで困り、問題を感じ、課題だと思っているか」ということを出していただき、お互いに理解し合える様な資料にまとめ、「検討資料」とし

て配布しました。

平成 26 年の 12 月に、「パブリックコメント」を行い、49 名の方から 74 件の意見が寄せられたのですが、他にはない非常に際立った多さでした。

そして、平成 27 年 3 月明石市議会において全会一致で採択され、平成 27 年 4 月から施行となりました。条例では「市の責務」として、事業者がコミュニケーション場面において、合理的配慮ができるように、支援すること。また、市民に対する普及、啓発、コミュニケーション手段の促進のため

環境整備、または調査、研究への協力も「市の責務」としました。具体的には、タブレット等を使って、遠隔で手話通訳や、言葉で発する



音声を変換して、タブレットで文字を読みながら、コミュニケーションできるような仕組みも、併せて導入しようということで、今取り組んでいるところです。

こりゃ大変だ！…何とかしなきゃ！ できるところからの取り組み…

実は私が明石市に着任した頃に、すぐに市の施策で、「障害がある人の差別について考える地域フォーラム」を行ったのですが、その時に場内におられた視覚障害者の方から、非常にインパクトのある鋭いご発言がありました。「市の方から普段、視覚障害者に対してサービスの内容だとか、年金や税金等、いろいろ関連する通知が送られてくる。自分たちにとっては、そういった役所から送られてくるいろいろな通知は、ただの『紙きれ』でしかない」と…。考えてみれば、ごもっともな話で、ようするに墨字の通知ですから、視覚障害の方には読めないわけです。点字や CD で音訳をしているわけでもないという様なことがありまして、「こんなことを何でもないようなことのように、繰り返し送ってくる役所のやり方というのは、行政が視覚障害者に対



して、差別をしていることにもなるのではないか」というようなご発言でした。

そこにいた市長も含め、「これは大変だ。なんとかしなきゃ！」と…それがきっかけになって、点字を希望する視覚障害者に、市政情報等にかかわる文書等について、点字プリンターを導入して点字対応を行うという取り組みをしています。

当事者の方からすれば、決して十分ではありませんけれども、「こういうできるところから取り組みをしてくれているということが、実感としてよく理解できる」ということで、今のところ取り組みを進めています。

条例づくりはゴールではない！

条例を作るということは、それでゴールではないですよ。言うまでもなくあくまでもスタート。

明石市手話言語等コミュニケーション施策推進協議会というものを設置し、もう少し委員を増やして、関係者の方々と、「障害のある人たちのコミュニケーション手段について、どうすれば少しでも、問題を解決していけるか」というようなことを、お互いに意見を出し合いながら、それを少しでも共通の課題にして、施策にもつなげていくというための協議会として今活動しています。



この 4 月から、明石市でも「わかりやすい版パンフレット」を作っています。やっぱり知的障害のある方や発達障害の方等も、少しでも理解していただけるような分かりやすいものにしていこうという努力はしているのですが、結果として十分にいきわたっているかというと、まだまだ課題はたくさんあると思います。

明石市はそれだけじゃない！その①

条例の施行に伴って、冠婚葬祭の親族の制限をはずしたり、就労支援の場合に手話通訳・要約筆記者が派遣できるように、『手話通訳者、要約筆記者派遣事業（意思疎通支援事業等）』の手話通訳者、要約筆記者の対象範囲を拡大しました。

また、まだ十分ではありませんが、手話通訳・要約筆記者事業に関わる報酬額の見直しや、手話検定等を活用した職員研修等の実施、明石市内の全市立小学校（28校）を対象に手話体験教室を実施することにしました。

明石市はそれだけじゃない！その②

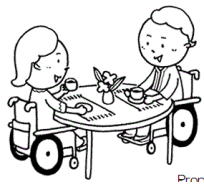
平成28年4月『明石市障害者配慮条例』施行

検討委員会に入る前に、4月から1ヵ月間、障害のある当事者の方々や家族団体の方、または障害のある方の生活を支援している各事業者の方々から、差別事例の募集をし、202件集めることができました。また商工会議所の協力を得て、障害のある方がお店に来たり、事業の関係で障害のある方の対応をする時に、「どの様な考え方で対応しているか、どの様に困っているのか」という…

事業者側の事情も、ある程度把握するようにしました。

この条例では、「合理的配慮の提供支援及び障害理解の啓発」、「合理的配慮を支援する助成制度」を『市の責務』とし、点字メニュー等コミュニケーションツールの作成にかかわる費用、折りたたみ式のスロープや筆談ボード等の購入、簡易型のスロープをつけたり、手すり等の簡単な工事が必要なもの等に、350万の当初予算をつけました。

7月末の実績では、助成制度の申請件数が119件、1,037,000円程の実績金額となっています。コミュニケーションツールの作成については、「点字メニュー」の作成申請件数が約23件、「筆談ボード」約85件の申請があります。



「コミュニケーション」は差別と関連 人と人とのつながりの第一歩

合理的配慮の提供がしやすくなる環境整備という考え方で助成制度をつくり、取り組んでいくことが大事だと思います。

特に商業者や中小企業の皆さんからすると、「合理的配慮という言葉は初めて聞いた」という方々がほとんどで、いきなり「国の法律もあるし、明石は条例もできたのだから」と強制的に求めていく



と、理解できないまま反発がどんどん起きる。せっかくの条例がやぶ蛇になり、元も子もなくなってしまう。まずはこういう制度を作り、合理的配慮というものを

を理解してもらうきっかけにすると、障害理解のための啓発にもつながるでしょう。また「こういうことだったら自分のところでも、もう少し工夫をすれば、こんなやり方もある」と考えていけるようになっていけば、コミュニケーション場面も含めて、随分状況が変わってくるのではないかと思います。

コミュニケーションは、差別ということと非常に関連があると思っています。人と人とのつながりができてくる第一歩で、スムーズに円滑にできるかどうかというのは、その人の日常生活や社会生活を送るうえで、決定的な大きな意味があります。個別の分野にとどめて納まるようなテーマではないのです。明石市は、第一段階で「手話言語・障害者コミュニケーション条例」、第二段階で「障害者配慮条例」をつくりました。その二つとも、やはり全ての人にとって、生活の全部に及んでくる大きな課題なんだと感じています。

※ 次号では「シンポジウム」のご報告をします。

愛知ではどんな条例にしていけるのか！！



着物 de 車いす!!

みなさんこんにちは、小島まちです。気がつけば10月も半ばを過ぎ、街にはオレンジ色のカボチャが目につきます。しかし、昭和40年代生まれの私には、このハロウィンほとんど縁がなく、「これはお店さんがお菓子を頑張って売ろうという作戦だ!」などとグチっております。

グチっなくなった私の障害は脳性マヒのアテトーゼ型で言語障害があり、外出時には電動車いすを使用しています。家族は同じ障害を持つ旦那様と、身長168センチと身体ばっかしでかなくなった高2の息子の3人です。

さて今回のお題は「着物 de 車いす」です。車いすに座ったままでも着物や振袖を着ることが可能になったという夢のようなお話です。実はローカルエリアのニュース番組で、「車いすのまま着られる着物」という特集を観たことがきっかけでした。ぐわ、それがまさかこの私も振袖を着ることになるとは夢にも思っていませんでした。



どこかで見たことがあるなあ・・・

その特集で取り上げられていた着物の発案者は中島明子さん、愛知県春日井市に本店を構える着物レンタル「羽衣 Style」の代表の方です。中島さんはある時、「偶然ラジオで障害者の恋愛番組が流れてきたのです。ずっと聞いていると心が温くなり、そうだ! 車いすのままでも着られる婚礼衣裳を作ろう!!」と思い立ったそうです。

私自身もその時は「へ～、そんな着物があるんだー」って、ボーっとテレビを観ていると、「あれっ! どこかで見たことある子だなあ」、その特集で振袖を着ていたモデルの女性は私の知り合いで、佳山明(かやまめい)さんです。佳山さんは日本福祉大学に通う車いすユーザーで、今時の若者です(ああ、羨ましい・・・) ならば彼女に振袖を試着した時の感想を聞いてみようということで、佳山さんとのやり取りをご紹介します。

と、その前にこの着物の特徴を

①着物がセパレートタイプ(上と下に分かれている)になっている。上は上着を羽織るようにして着る。下はエプロン(前掛け)のようになって

いて、車いすに広げてその上に座り、巻きスカートのように巻く。



上下が分かれている
セパレートタイプ



車いすに敷いて、その上に座り、
くると巻いて後で紐を縛る。

②通常の着物は襦袢^{じゅばん}という白い着物を着て、^{えり}衿を出すけど、この着物はもう衿が付けてあるので、着物を1枚だけ着れば大丈夫。



③帯も何回もクルクルと巻かれるイメージですが、この着物の帯は前だけ帯がある帯板形式で、後ろは4センチ幅のゴムでつなげてある。

④振袖の華帯は車いすのハンドルに着けるものもある。



ゴムをハンドルに通すだけ。
あとは形を整えれば完成。



佳山さんに聞いてみました

佳山 明 さんのプロフィール

学校名(学科)：日本福祉大学

(社会福祉学部社会福祉学科3年生)

趣味・特技：趣味はいろいろなところへ出掛けて行くことです。特技は朗読です。

将来の夢：北欧に住むことです。

彼氏いるの???：今はいません。

障害の状況：脳性マヒで、四肢に麻痺があり、簡易電動を使用しています。家では、いざり移動をしています。

まち：テレビ取材の話があったとき、どう思いましたか？

佳山：「私でいいのかな？」と思いました。でも、この着物をたくさんの方に知ってもらえるので嬉しかったです。

まち：羽衣 style さんの着物を着てみて、印象はいかがでしたか？

佳山：着脱が簡単だし、着心地も楽で良いなあと思いました。締めつけなどがなく、長時間着て

いても辛くないと思います。

まち：着物を着た状態でお手洗いに行けました？もし行かれたら、やはり大変でしたか？

佳山：トイレは行ってないです。でも、この着物だったら楽に行けるよう工夫されています。

まち：「もう少しこうだったらいいなあ」と思うところがあれば教えてください。

佳山：着物が上下に分かれていて、下半身の腰周りを固定する箇所をマジックテープ式に作って下さるなど、いろいろと工夫しており、着物に関しては特に問題ありません。ただ、草履ぞうりを履くのは難しいなあと思いました。

佳山さんご協力どうもありがとうございました。
佳山さんは在学中で、卒業式は羽衣 Style さんに袴をお願いするそうです。きっと綺麗だろうなあって羨ましがっていました！！

思いもよらず・・・

私はこの記事を必死こいて書きつつも、先月半ばに「海のバリフリ祭り」(*1) というイベントに行ってきました。ボート乗りを始め、よさこい踊りや模擬店などの催しがあった中で、なんと！！羽衣 Style さんの着物試着会もやっていたのです。正直、私は初め何の催しか分からなくて、ヘルパーさんに連れて行かれてその場に着くと、いつかテレビで見た中島明子さんがにこやかにいらっしやるではあ～りませんか！

あとはもうなすがままに振袖を着せてもらい、5分も経たないうちに「七五三」いやいや「振袖姿」のできあがり・・・バッチリお見合い写真(違うか)も撮ってもらい、束の間でしたがおしとやかな気分を味わせていただきました。

ではでは、せっくなので私も試着した感想を書きますね。

*1 海のバリフリ祭り

NPO法人「海の達人」が主催しているお祭りで、ボート、クルーザーヨット、デインギ、シーカヤック… 多彩な船とマリンスポーツが障害の有無に関係なく、また年齢も問わず、誰でも安全に楽しく体験可能。「気持ちいい海」が体感できます。毎年9月に三重県のマリーナ河芸で開催しています。

中島さんに聞いてみました

まち: 先日はありがとうございました。脱ぎ着がとても楽ですね。5分もかからないうちに出来上がるのはとても凄いです。着心地も良く、あの着物でしたら長時間着ていても大丈夫かと思います。

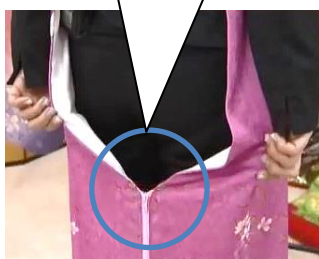
中島: 実際試着していただけて本当によかったです。

まち: ただ、長時間ですとお手洗いをどうしようかと心配です。

中島: そうですねえ、介助の方がみえれば着物の後ろのファスナーを広げればエプロン状になるので、トイレは可能だと思います。自分だけでお手洗いに行くのは難しいかもしれません。



ファスナーを広げることができる。



まち: 恐らく私が試着した着物は立たなくても良いものだったと思いますが、身体が前後によく動くので、帯を車いすのハンドルに着けても、離れてしまうので、背中が見えてしまわないか気になります。

中島: 帯に関してですが、試着の時は椅子の背に乗せたのですが、実際の場合は、車いすのハンドルにゴムでひっかけて落ちないようにしますので安心してください。取っ手に付ける帯以外に背中に直接つける帯もあります。ただ、背中に直接付けると車いすにもたれた時、華帯の場合は背中が当たります。

(お太鼓帯の場合はもたれても大丈夫です。)



もたれるシーンが多いか、起きているシーンが多いかによってどちらにするか決めていただきます。

まち: そして佳山さんもおっしゃっていましたが、私も草履を履くことが難しいので、その代わりになる物はないでしょうか？

中島: 草履に変わるものですが、私も考えているのですが、なかなかアイデアが思いつかず、その部分に関しては申し訳ありません。今後とも考えていきますが、また良いアイデアがありましたら教えて頂けたらと思います。

まち: うーん、難しいですね。またこちらでも考えてみます。お話しをどうもありがとうございました。

まとめ

いよいよ私たち車いすユーザーでも、着物が着られるようになったのですね。中島さんはこの着物を作るために、障害の種別や症状を勉強されたことでしょう。頭が下がる思いです。最後に私が「羽衣 Style」HPを見て、印象に残っている言葉を書きますね。

もう“着物が夢”なんて思わないでください。晴れの日を羽衣 Style の車椅子着物でお迎えください。着物が着たい全ての方の笑顔が私共の喜びです。

by 中島明子

羽衣 Style

〒486-0945

愛知県春日井市勝川町 8-9-13

TEL (0568) 27-9438

FAX (0568) 27-7048

HP <http://www.hanayome-c.net>

e-mail info@hagoromostyle.net

夏季自立体験プログラム 2016



皆さんはじめまして！夏季自立体験プログラム新人スタッフ、永遠の16歳♪柳原 康来（やなぎはら こうき）です！！

障害は脳性麻痺で顎を使って電動車いすを操作して生活をしています。出身は岐阜県の岐南町というところで、現在は福祉ホーム サマリアハウスで24時間ヘルパーと一緒に生活をしています。自立生活歴は1年11ヶ月です。趣味は音楽鑑賞とLIVEを見に行くことです。特にハマっているのはAAA、SKY-HI、ワンオクです！どこかで顔を見かけたら気軽に声をかけて下さい。すごーく喜びます！！(笑)

さて、毎年夏休みの1週間を使って行われる夏季自立体験プログラム。今年は8月20日～28日（24、25日は中休み）の7日間実施されました。

夏季体験ってなに？

夏季自立体験プログラムは、特別支援学校に通う中高生を対象に行われています。普段できないことや自分のやりたいことを、自分たちで企画して実現していくプログラムです。

障害がある学生は普段、家族や周りの人に遠慮して生きていたり、バスや電車に乗ったりなど同世代の健常者が経験していることを経験していないことが多いです。

僕自身、12年前の夏季体験参加者でした。指示の出し方や、電車やバスの乗り方、海水浴がすごく楽しいことを学びました。

スタッフになって・・・

スタッフとして参加するにあたり、昔と参加の仕方が違いました。昔は経験が少なかったので、見ることにすることが常に怖かったです。しかし、スタッフとして参加した今回は、障害がある学生たちに楽しんでもらうことはもちろん、どういうことに気づいて欲しいか、夏季体験が終わった後、継続して外出してもらうためには何を経験すればよいか、ということを考えながらの参加でした。特に気をつけたのは、夏季体験中の中高生と一緒に行動するとき、中高生たちに決めてもらうた

めに極力助言はせず、見守りに徹しました。

僕が夏季体験を経験した頃は、すごく楽しかったという気持ちだけでした。しかし、福祉ホームサマリアハウスで生活をするようになって、夏季体験での経験がすごく重要なことだと実感しました。「この経験を早いうちに後輩たちに経験して欲しい。そのために、自分が変わるきっかけとなった夏季体験に携わりたい！」そう思って、去年の9月からスタッフになりました。

スタッフの仕事は大変だと思っていましたが、すごく充実した楽しい時間でした。自分から望んで携わっているので、スタッフの仕事を「苦」だとか、「辛い」と思ったことはありませんでした。また、中高生が夏季体験によって成長していく姿を考えると、ワクワクしてやりがいを感じました。

夏季体験、なにやったの？

今年の参加者は中学3年生～高校3年生の9名でした。日程は...

- ☺1日目 オリエンテーション
- ☺2～4日目 自分の好きなことをする3日間
- ☺5日目 ラグナシアへ行こう！
- ☺6日目 まちの人に話しかけて、
課題をクリアしよう！
- ☺7日目 振り返り

今回の夏季体験の目玉は、自分でスケジュールを立てて、自分の好きなことを行うプログラムと参加者全員でラグナシアへ行くことでした。

初めて大阪に1泊で行って甲子園で高校野球を観た人、初めて伊勢神宮に参拝した人、初めて大須を散策した人など、初めてがいっぱいでした。

僕が担当した O 君はすごくアクティブで、猛暑日のなか大須から栄までを徒歩で移動し、興味が湧いた場所に行っていました。すごく楽しそうでした。

ラグナシアの日は、参加者が名古屋駅と金山駅に分かれて集合し、スタッフ、サポーターと一緒に公共交通機関でラグーナへ向かいました。サポーターが集合時間に遅れるというハプニングがありましたが、公共交通機関に乗ったことのない参加者は移動もすごく楽しそうでした。ラグーナ内では、Y 君と H 君と一緒にワンピースのエリアに行き、一緒に楽しみました。

エリア内を周って、クイズに答えるミッションでは、サポーターと一緒に問題を探して、楽しみながら解いていました。



参加した中高生は…

● O 君

最初はとても緊張したけど、段々慣れてきた。一人で家に帰ってみたいです。

道がわからなくなっても集合時間に遅れてしまったこともあったけど、これからはもっと外に出ようと思いました。今までは家の中で過ごすことが多かったんです。

● M 君

1泊2日で行った大阪旅行は楽しかった！今まで積極的に自分のやりたいことをやっていなかったの、一人カラオケや1泊2日の大阪旅行は楽

しかったです。いつか、サンシャイン栄に行ってSKEのLIVEを観たいです。夏季体験に参加して、地図が苦手なのがわかったので、下調べもできるようにしたいです。

● O 君

初めて親から離れて2泊3日過ごしました。プログラムの中で初めて洗濯を自分でしました。家事を経験することができました。

伊勢に行った時、お店のおばあちゃんやいろんな人が手伝ってくれて温かった～。

● Y 君

ノリタケの森で恐竜が見れて良かったし、ラグナシアがすごく楽しかった。それから、大須で食べた世界一のピザが美味しかった。特にチーズとトマトが美味しかったです。今度は、プラネタリウムに行きたい。

● H 君

セントレアにでかけました。豊橋駅に行った時駅で迷ってしまった。エレベーターの場所を忘れて20～30分も！

これからの夏季体験

今年の夏季体験が終わった時、参加者から「楽しかった！」「また行きたい！」という感想を聞いて、すごく嬉しかったです。

来年は、今年以上に夏季体験を盛り上げていきたいと思います。

この記事を読んで興味が湧いた方は、サポーターとして参加して下さい！



いこいの村に行ってきました！！

こんにちは。池田待恵です。私は日本福祉大学の2年生で、障害名は脳性麻痺です。

今回は以前に紹介したヘルパーサークル CHANGE の他にもう一つ入っている手話サークル加絵手（かえで）で行ってきた、いこいの村実習について書きたいと思います。



手話サークル「加絵手」とは？

手話サークル「加絵手」は、本当の名前は少し長く、「I 部聴覚障害者問題研究会 加絵手」と言います。加絵手では聴覚障害について学習したり、グループになり自分たちでテーマについての発表を手話などでしたりして、手話を覚えるというよりは聴覚障害についてみんなで考えながら自然に身に付けていくというような感じで活動しています。現在加絵手では 50 名ほどの学生が活動しています。その加絵手では毎年夏に希望するサークルメンバーを募って、京都にあるいこいの村に4泊5日で実習という形で行っています。私は加絵手2年目にして初めていこいの村に行ってきました。今回は加絵手メンバー8人で行きました。そこでの体験を書いていきたいと思います。その前に…

いこいの村ってどんなところ？

いこいの村とは京都府綾部市にある聴覚言語障害者総合福祉施設のことで、いこいの村聴覚言語障害センターといいます。このいこいの村では聴覚障害と何か別の障害（知的障害・肢体不自由・精神障害・視覚障害など）が重なっている、ろう重複障害がある仲間が多くいます。いこいの村では、栗の木寮・梅の

木寮・桃の木寮・グループホームコスモス寮・グループホームとくらの家・綾部東部在宅介護支援センター・綾部東部デイサービスセンターの7つの施設があります。栗の木寮では余暇の時間は外出・外泊届けの提出をすれば自由に外出できます。梅の木寮は、「高齢ろうあ者・難聴・中途失聴者も『安心と豊かさ』の実感できる暮らしの場を」との強い願いと行政の理解によって、1992年（平成4年）に聴覚障害者支援の専門性を備えた全国初の特別養護老人ホームとして開所しました。外出は生活者の希望に合わせて、外出届を出し職員と一緒に外出をしており、お誕生日外出というものもしています。

ボランティアハウスである桃の木寮に泊まりながら、栗の木寮と梅の木寮で交流をメインに実習させていただきました。私は、実質3日間を梅の木寮で活動をしました。梅の木寮は介護を必要とする人が生活している特別養護老人ホームで、ろう者・ろう重複障害の人も多いです。しかし、地域の高齢者も多く入所するため、耳の聞こえる人、その他の障害がある人も多数生活しています。さてさて…



新しい発見

まず、いこいの村は遠かった。山の頂近くにあるので京都駅からも遠く、名古屋駅から半日以上かかりました。やっと着いて桃の木寮に連れてってもらい、その日は夕食を食べ就寝。次の日から実習です。

次の日、朝ごはんを食べ、職員の方と一緒に朝礼に参加。その後分かれて私は梅の木寮の2階で活動をしました。ちなみに3日間同じ流れで、同じ梅の木寮の2階で、もう一人の加絵手のメンバーと2人で活動しました。梅の木寮はとってものんびりというか、ゆったりした雰囲気です。生活者が思うままに楽しく過ごしているように感じました。実習が始まって感じたのは、手話にも方言があるということでした。事前に先輩から話を聞いていたのでなんとなくはわかっていましたが、あまり話の内容が伝わらないし、相手の手話も読み取れず、どうしたらいいのかと戸惑ってしまいました。しかし、職員の方もろう者だったので、優しくフォローしてくれて、私たちを楽しく紹介してくれました。そこから少し緊張もほぐれ会話がしやすくなったのですが、やはりあまり伝わらない。でも、生活者の方が私に伝えようと指文字や筆談・ジェスチャーなどでしてくれて、とても嬉しかったです。2日、3日となっていくうちに表情で少しわかったり、手話や指文字で伝わるようになり、生活者の話を聞くのがとても楽しかったです。午前中は主にお話をしたりして交流。朝の会というものがあり、梅の木寮の2階で私ともう一人の加絵手メンバーと2人で朝の会を進行したりして、とても緊張しましたが、生活者から手話を教えてもらったりして、みんなで楽しくできました。午後はお話をしながらトランプなどを



して活動しました。梅の木寮では不就学の人があるので、トランプの方法が分からない人や数

字が分からない人もいました。その生活者にどう説明するのか難しかったですが、ババ抜きや7並べの数字を一緒に確認したり、ジェスチャーをして伝わり、2時間以上トランプ対決をしたりして楽しく交流しました。

貴重な経験

今回いこいの村実習に行き、とても貴重な経験をさせてもらったと感じ、行って良かったと心から思いました。なかなかサークルで施設に行き実習という形で学べることはないと思います。3年になったら実習がありますが、今回3年になる前にちょっとした実習に行くことができ、施設がどんなところでどういった人が生活しているのかを知るきっかけになれたのでほんとに良かったです。いこいの村に行ったことでコミュニケーション方法の幅がさらに広がりました。話すこともそうですが、手話・指文字・口話・筆談・ジェスチャー・触手話（今回私は触手話はできなかったです）・表情などコミュニケーション方法もたくさんあり、表情や動きを大きくして、身体全体で表して会話をしていくことも大切だということも学びました。また、実際にたくさんの人と関わって学ぶことは様々なことに気付くことができるのでとても大切だと改めて感じました。これからももっと積極的にたくさんの人と関わっていきます。



人には名前がある。

堤 剋喜



こんなエピソードを伝え聞いている。

ある幼稚園が園児の保護者向けの講演会を開いた。講師は故・敷野正雄氏。洋画家で二期会の重鎮。講演の中で、「子どもの絵について巧いとか下手とか言つてはいけない」という趣旨を話された。講演の後の茶話会の席で、壁に張り出されていた絵の中の一枚を目にとめ、「この子は絵がとても上手だなあ。おっと、私がこんなことを言っちゃいけない。製作も絵画指導も一流。」うちの子どもたちがガヤガヤしているのが好きな人だった」とも聞いたことがある。講演の身を僕は知らないが、発達の進みには個人差があるし、その子が本気になるまで全力で描いた絵かどうかは、本人とその場にいた親しい人たちしか分からない。気乗りがしないのに書かされたものや落書きを見て「下手だ」と言われたら、その子に立つ瀬がない。どこかを褒めるか、どう褒めていいか分からなければ、話題にしないのが得策だ。そんな講演だったのだからと勝手に想像している。それにだ。どんなアドバイスをどのタイミングで受けるか、あるいは受けなかったかでも、絵の出来映えは違ってくる。その子にしか書けない絵とか、線や打てない点というものもきっとある。

帰りのホームルームで、文化委員が立ち上がる。「生徒会主催のイラストコンクール、

このクラスからはまだ一つも作品が集まっています。誰か出してください」反応なし。落胆した様子で自分の席に戻る。「作品が集まらなくても君に責任はないだろ？」と聞く。作品を集めるのが文化委員の仕事。クラスで参加者、作品がゼロでは格好がつかず、結局、PR不足で、彼の怠慢と見なされそうだと、彼の返事。どこか理不尽。「いつまでだっけ？」「明日まで」「一瞬ひるむも、「まあ、僕でよければ。今晚やってみるけど、出せないかも。期待しないでくれよ」「いや、大いに期待してる。もう任せ」絵画や水彩画でなく「イラスト」と指定されているのなら、色を塗る必要はないと踏んだ。濃いめの鉛筆一本とレポート用紙で済ませるしかない。九時まで宿題で、その後か。

お手本を三冊用意した。今の僕の描き方とはずいぶん違う。やろうとしているのは模写。でも、紙の上に残っていくのは僕が引ける線と打てる点であって、模写にはならない。僕の絵が紙の上にあった。馬の絵が八枚、鳥の絵が二枚できた。十一時を過ぎていた。時間切れ。絵が下手でもそれと解りそうな特徴的な恐竜、剣竜(ステゴサウルス)や角竜(サイ)のような恐竜)に順番はなかった。絵の中にはサインは入れなかった。十枚の絵を封筒に入れ、まとめて一度だけ署名した。やるだけはやった。所要時間、一枚あたり十分三十秒。不思議と、苦痛ではなかった。とにかく、約束は守れた。これで寝られる。翌朝、封筒を手渡す。「ありがとう。助かったよ。じゃあ、今すぐ提出してくるね」職員室の方へ出て行った。提出先は美術の先生だったらしい。彼との約束は果たせた。一件落着きと思っていたら、「堤君、あのイラストだけど、入賞する可能性が十分あるよ。見た先生たちが皆

褒めていたから。本当だよ」話半分と聞いていた。でも、うれしかった。参加した手前、作品展示を見に行く。僕に勝ち目ないな。これが第一印象。カラー作品ばかり。額に入ったセル画まであり、手間のかけ方では雲泥の差。ところが、友達の予想が当たり、六位入賞となった。応募作品総数六十八点。なぜか参加人数は伏せられた。七位以下はない。最下位入賞者として僕は賞状を受け取った。「以下同文。おめでとう」と。全校で四十二クラス。一クラス作品数は一点か二点。想定外の参加者が期限ぎりぎりに一人で十枚を持ち込んだ。審査側は教育的配慮として、賞状を一枚追加した。そんなところではなかったか。文化委員の顔は立った、と思う。けれど、クラス内で僕はいささか目立ちすぎた。高校(の内申書のために参加して賞状まで取りやがった、と揶揄された。

国際児童年の記念イベント(三万博)。パビリオンの一つに子どもの絵と造形作品の展示があった。幼児の作品には大人のひらがなで署名してある。学齢を超すと自筆になり、学年が上がるとう署名の中に漢字が増えてくる。ここに僕の絵があつたらなあと思ひ始める。異様な一角に出た。作者の名前がない。障害名と年齢しか見当たらない。事前に、自分がこんな扱いをされると知っていたら、誘いがあつても参加を拒んだだろう。

あまり触れたくないが、忘れないうちに書いておくことにしよう。神奈川の障害者施設で起きた殺人事件の報道に最初に接した際、まず覚えたのは、危機感と言うよりも、違和感、既視感と既読感の混ざり物だった。なぜ、加害者は人格を持った個人として扱い、主張まで伝えるのに、殺され

た人たちのほうは人数しか出ないのか？亡くなられた方々の年齢と性別だけが記された建物の見取り図のニュース画面と、差別戒名の話とが僕の頭の中で重なった。差別戒名といわれたのは、被葬者が被差別部落の出身者であることを示すために、戒名の中に、わざと畜や愚などの忌避すべき文字を入れたものだ。つまり、死後もずっと続く差別である。死者の名誉のために改葬すべしという意見と、負の歴史の証として残すべきだという声があるようだ。教職にあった友人が部落差別について学校で教えることへのためらいを話してくれた。「だってねえ、大人が余計なことを教える必要はないよ。知らせない方がいいと思う。せつなく仲よくやっている子供らに」と。

不利益を受ける恐れがあるのは事実だし、平穏な時を守るためにも、ご遺族への配慮やサポートは必要だ。しかし、事件や事故などの犠牲者の名を報じる意義は死者への孝敬と、その死を防げなかったことを社会として詫びることにある。もし仮に、どこかで重大事故か、無差別殺人が起きたとして、その犠牲者の中にたまたま一人か二人障害者がいたとしたら、多分全員の名前が報じられるはずだ。そう考えると、なんともやるせない。

命の尊さを教えるために殺されていい人はいない。平和の大切さを知るために戦争する必要はないし、そんな余裕もなさそう。生まれてきた以上、自然死でない死、避けることができる死から逃れる権利があるし、避けられる死を回避する義務は、みんなを負わないと果たせない。

あらしの前の夜に。

福祉用具のリサイクル情報 (16/10/12 現在)

欲しいもの、不要なものはありませんか？
リサイクルの輪を広げよう！

なごや福祉用具プラザで、福祉用具のリサイクル品の
コーディネートと福祉用具の販売、自立生活情報の提供などを行っています。

譲りますよ！ *金額のないものは無料です。

★移動用品

- ・携帯用折りたたみ式介助車いす 数回使用
- ・介助用車いす (MC-43SKSP ミキ) 不明
- ・四点杖 4 年使用
- ・伸縮杖 (アルミ製杖 MRA-O1112 ミキ) 未使用
- ・段差解消機 (スマートリフト S120 ハナオカ) 未使用
- ・プロンボード (立位保持装置) 不明
- ・SRC ウォーカー M (子供用座位歩行器) 不明

★トイレ用品

- ・ポータブルトイレ (プラスチック製 キャスター付 INAX) 未使用

★入浴用品

- ・シャワーベンチ (肘掛けなし アロン化成) 数回使用
- ・シャワーキャリー (MHC46 ミキ) 4 年使用

★その他

- ・リヒカ 不明

★洗浄消毒、点検整備済中古車いす★

- ・自走式車いす
 - (NC-1CB 日進医療器) ￥25,800
 - (NW-2L11B 松永製作所) ￥39,800
 - (Skit4 ミキ) ￥69,800
- ・介助式車いす
 - (軽7 日進医療器) ￥29,800
 - (超々軽量 ミキ) ￥29,800
 - (LSC-2 ミキ) ￥29,800
 - (MW-SL2 松永製作所) ￥34,800

※なお、中古商品の販売も行なっておりますので、
ご要望等ございましたら、お問い合わせ下さい。

※福祉用具を必要とされる方が待っています。
是非、不要になった福祉用具のご登録にご協力
お願い致します。

譲って欲しい！

★ベッド、床周り品

- ・1、2、3 各モーターベッド
- ・各マット (体位分散、エアー、口ホ)
- ・サイドテーブル

★移動用品

- ・各車いす (手動、座幅 45 cm、片手駆動、子供用簡易電動、介助用、リクライニング)
- ・JW1 のバッテリー
- ・歩行器 (馬蹄型) ・歩行車 ・シルバーカー
- ・マイリフティ ・つるべ床走行式リフト
- ・介護リフト用シート ・段差解消機 (屋外用)

★入浴用品

- ・入浴用車いす (安楽キャリーBタイプ)
- ・入浴用チェア ・浴槽台 ・入浴用リフト
- ・バスボード ・浴槽手すり

★その他

- ・スロープ (折りたたみ) 2M、3M
- ・口ホクッション ・座位保持用クッション
- ・車いす用座位保持ベルト ・昇降座いす
- ・置き型手すり ・車用つり革 ・紙おむつ
- ・スライディングボード SS ・拡大読書器 (小型)
- ・トイレ用手すり

「譲って」欲しい方、「譲りたい！」という方、
ぜひご連絡下さい。

＜福祉用具についての問い合わせ＞

なごや福祉用具普及協議会代表事業者

(株)メディケア リサイクル相談事業部

TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

旅の空から

皆さん、こんにちは。いつも旅行情報を掲載していただいている（株）チクトラベルセンターの松本です。いよいよ食べ物が美味しい季節になりましたね。残念ながら松茸は口に入らないですが、大好きなりんごや柿、サンマ、考えただけでヨダレが出そうです。それにお出かけには最適のシーズンとなりますので皆様も旅行プランを考えていらっしゃることでしょう。



先日、ある女性から「台湾の情報を」との声をいただきましたので、今回は台湾の台北市について情報を書かせていただきます。言わずと知れた台北市は台湾の首都。台北市長は東京都知事と同じくらい権力を持った偉いお方とお聞きしております。その台北市はバリアフリー整備に力を入れて車椅子ご利用の方が安心してお出かけいただける都市の代表格と言えます。



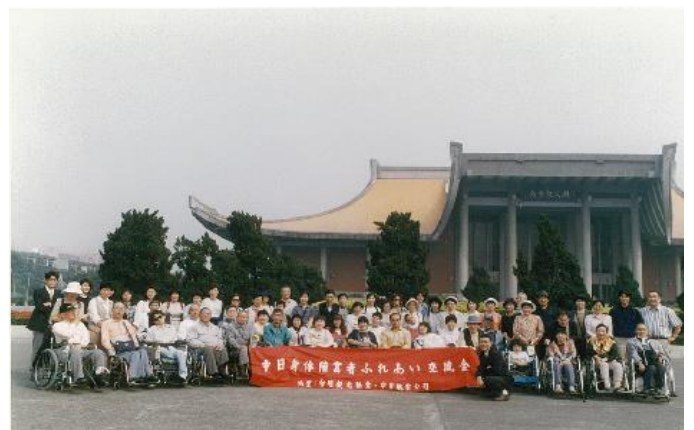
19 年前の交流会

今から 19 年前に名古屋に就航しているチャイナエアラインという航空会社から「車椅子を使う皆様に台湾にご案内できないか？」という相談を持ちかけられました。プライベートでは台湾に出かけたことがある私ですが、まだ自信を持てなかったため、その年の社員旅行が偶然にも台湾の台北市でしたので、まず下見をしてからというお返事をしました。その結果、思ったより身障者設備があり、ホテルも使いやすいところを見つけました。というわけで「車椅子で台湾体験 4 日間」というツアーを計画し、中日新聞社がこの面白企画を記事にしてくださいました。

その結果は… 3 日間昼食もなしで電話対応するほどのお申し込みがあり、総勢 60 名余りの大ツアーが催行されました。しかし飛行機に搭載可能な車椅子は台数に制限があり、1 回で 15 台までという約束でした。ツアーは 1 班と 2 班で一日ずらしての出発として 30 台の車椅子が勢ぞろいしました。

1 班と 2 班が同じ観光地で重ならないようにコースを調整し、身障者用トイレが混雑しないよう考えました。宿泊ホテルは 1 班も 2 班も同じですが、お部屋が通常ルームでも車椅子をご利用されている方が不便なく使えたので、問題なくお過ごしいただけました。

台湾の身障者協会との交流会も開催されることになっており、ホテルの会場は満席状態でした。日本からこんなに多くの車椅子をご利用されている方々が、台湾にいらっしゃったことを、地元新聞の記者も驚いていました。夕食の懇親会場は通訳の数が不足していましたので、皆様には「漢字で書いてお話しして下さい！」とお伝えしたところ、あちらこちらで笑い声が聞こえてきて、どうやら通じているようでした。



國父紀念館 SUN YET-SEN MEMOIAL HALL 1997. 3. 13.

総勢 60 名を超える台湾ツアー

このツアーにはお申し込みが多すぎて、急遽 1 ヶ月遅れて 3 班目のツアーも設定することになりました。

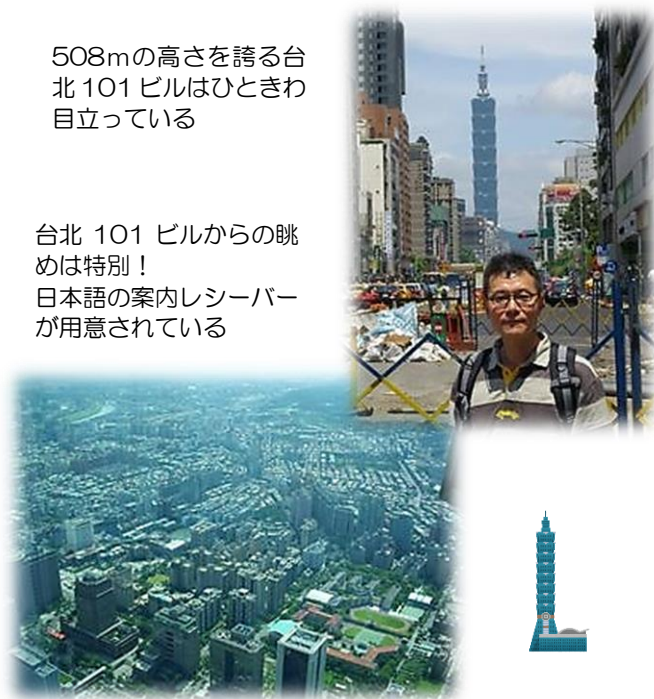
台北市の整備

当時の台北市長の奥様は、交通事故で脊髄損傷となられ車椅子生活をなさっていました。私たちの交流の様子が台湾の新聞に掲載されたのをご覧になられた台北市長は「よし、台北はこれからバリアフリー整備に力を入れよう!」と思われたそうです。それから 19 年、台北は地下鉄も完成し、公園、建物に身障者用トイレの整備を進めました。台北の地下鉄はアジア No.1 と言っても良いでしょう。駅員さんも親切で、ニコニコ笑って案内して下さいます。トイレに行きたくなったら地下鉄のトイレをと言うほど、すべての駅に身障者トイレも整備されています。

ショッピングセンター、台北 101 ビル、観光客だけではなく地元の人も訪れる場所には身障者用トイレの心配が無くなりました。

508mの高さを誇る台北 101 ビルはひときり目立っている

台北 101 ビルからの眺めは特別!
日本語の案内レシーバーが用意されている



故宮博物院

台北へお出かけになられると必ず立ち寄る場所が故宮博物院です。所蔵品の多さでは世界でも有数の巨大博物館です。あまりに所蔵品が多すぎて3ヶ月に一度展示物を入れ替えているそうです。それでも皆様お目当ての有名工芸品は常に展示してあり、世界中から訪れる観光客のみならず、台湾の小学生たちが社会見学に来て

熱心に見入っています。この博物館ではぜひ地元ガイドさんの説明を聞きながら鑑賞していただきたいです。

現在は大改装も終り、入場口に立派な身障者用トイレも完成しています。館内はヘッドフォンシステムで展示物の説明を聞くことができますが、やはり地元ガイドさんの面白い説明を聞いたほうが楽しめます。

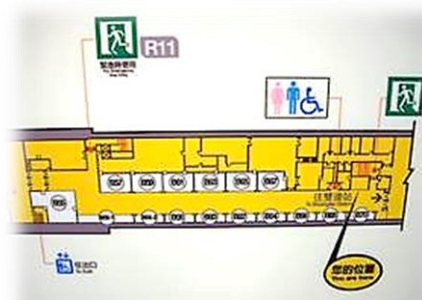


改装後、とても見やすくなった故宮博物院

地下鉄での観光

台北の地下鉄は大変わかりやすい構造です。地上にはエレベーターの場所を示す地図もあり、初めて台北を訪れる人でも使いやすいでしょう。

切符は自販機で購入しますが、プリペイドカードを購入すると自動改札に慣れている日本の人は便利です。台湾人でも自動改札が初めてという人があり、駅員さんが「ここに入れて」と説明していることもあります。おそらく山間部から首都台北観光にやって来た人だと思われます。



台北の地下鉄は案内図がわかりやすい

初めての方でも心配ありません

私がお勧めしたいのは淡水という郊外まで出かけることです。台北市民の憩いの場となっている場所で、土曜や日曜には大道芸人が出てきたり、すべての飲食店が営業していますので賑やかです。淡水では 30 センチの長さがあるソフトクリームが有名で、何人かでひとつのソフトクリームを食べている姿を見かけます。それとタコの足をから揚げにして好みの味付けをするものが人気です。

カップに入れてくれますので、歩きながらつまんで食べます。河口なので夕日が沈む頃に行くとカップルが肩を寄せあって羨ましい限りです。平日に行くと静かな観光地ですのでゆっくり楽しめます。

台湾グルメ



台北に来たならぜひ鼎泰豊(ティンタイフォン)の小龍包をご賞味ください。蒸しあがったばかりの熱々の小龍包を一口食べると幸せな気分になります。熱いのが苦手な方は少し冷ましてからとなりますが、中のスープと具材が絶妙なので、なるべく熱いうちに召し上がるのをお勧めします。あまり冷めると皮が硬くなってしまいます。

その他には牡蠣のオムレツがあります。こちらは人気店には行列が来ていますのですぐにわかります。生まれて初めての海外旅行という友人を連れて台湾に出かけたとき、台湾人の知り合いがこのオムレツの店まで連れていってくれました。私の友人は知り合いから「牡蠣のオムレツは腹痛を起こすから食べるな!」と言われてきたそうです。半ば強引に食べさせたら「うまい、うまい」と2枚も平らげました。「人気店だからしっかり調理してくれるし大丈夫」だと言い聞かせましたが…

台湾新幹線

日本の技術を導入した台湾新幹線は「高鉄(高速鉄道)」と呼ばれています。白とオレンジの車体で少し丸っこいのが特徴です。

車内は日本の新幹線みたいですが、車椅子用座席がひとり用として独立しており、進行方向、後ろ向き、横向きでカチンと固定できるのが気に入っています。車椅子のまま乗車している人と窓を背中にして向かい合って話ができるのです。これはとても便利です。

駅も立派で最新の設備が整っています。台北市だけの観光では台北駅の地下にホームがあるため、新幹線を見たい人は地下駅へ行き、改札を通

らなくてもホームに停車している新幹線を上から見る事が可能です。

さて、こんな感じでご紹介しましたが、衛兵交代がある忠烈祠や中正祈念堂など見所はたくさんありますので、ぜひお出かけください。

忠烈祠での衛兵交代式は観光客だけでなく地元の人も衛兵を見学にやってくる



台北の寺院では若い人も願掛けにやってくるお供えの品がすごい量!!

台湾からは日本に多くの観光客が訪れます。私たちも負けずに台湾へ出かけて、台湾の人たちと交流してください。日本語ができる人は多いですよ。

観光庁長官登録旅行業第735号
(株)チクトラベルセンター

ハートTOハート事業部

松本 泰守(まつもと やすもり)

ハートTOハートを担当して20年目

〒460-0003

名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6F

TEL (052) 222-7611

FAX (052) 212-2778

matsu@tictravel.co.jp

チケットラベル ハートTOハート

リフトカー利用の バンコク5日間の旅（個人旅行）

現地空港到着から日本語ガイドがご案内します。
11月から乾季を迎え、旅行シーズンとなるバンコクは電動車椅子もそのまま乗車可能なリフトカーをご用意することが可能です。ホテルはバリアフリールームが使いやすく、チャオプラヤ川のほとりでの滞在です。

旅行日：11月1日～2月25日のお好きな日
料 金：ひとり 158,000 円～

（2名1室、専用リフトカー利用）

ポイント：滞在型でゆっくり楽しめます。

身障者用のトイレがある観光地をうまく組み合わせて安心コースを設定いたしますのでご安心ください。最新のショッピングセンターはお尻洗浄トイレまで完備してバンコクの街が楽しくなります。

満喫台北3日間（個人旅行）

現地空港到着から日本語ガイドがご案内します。
食べる・見る・楽しむがセットになった安心旅行です。話題の小籠包や台湾屋台での食事楽しみです。現地ガイドと一緒に行動しますので言葉の心配もなく存分に楽しめます。

旅行日：11月1日～3月30日のお好きな日
料 金：ひとり 86,800 円～

（2名1室、専用車利用）

ポイント：地下鉄体験も含めたオリジナルコースを設定しています。車椅子対応のリフトカーをご希望な場合は追加料金で手配が可能です。トイレの心配がないように身障者用トイレのある場所で休憩いたします。

今が行き時、沖縄3日間（個人旅行）

福祉レンタカー、福祉タクシー、通常レンタカーも自由に組み込み可能です。ホテルは身障者ルームを手配いたしますので不安なくお過ごしください。

旅行日：11月1日～3月30日のお好きな日
料 金：ひとり 37,300 円～

（2名1室、通常レンタカー3日間付き）

ポイント：ホテルをいろいろ選べるのが沖縄のよいところです。目的に合わせてホテルをご提案しますのでご希望の観光地などをお伝え下さい。現地で入浴サポート（有料）が受けられますのでお風呂が大変と思わないでお出かけください。

<いつでも出発可能！個人旅行やグループ旅行>

行きたい人が行きたい場所へ行きたい時に。

ハートTOハートの個別プランは重度の障がいがあるお客様にも対応可能です。人工呼吸器をご利用の方、ストレッチャータクシーをご希望の方など対応しております。

担当者の松本がいつでもご相談をお受けします。
※添乗に出かけているときはご勘弁ください。

☆ 九州復興旅行 ☆

熊本のみならず、宮崎や鹿児島にも復興割が適用されています。いろいろなメニューが無料でついてくるグルメクーポンをご用意しますので、あれこれ食べたい人はレンタカーもしくはタクシーをご利用いただくと良いでしょう。もちろん車椅子対応福祉タクシーも手配します。

☆ 秋田のきりたんぼ ☆

名古屋から飛行機で簡単に行ける秋田では名物きりたんぼ鍋が美味しくなる季節です。ダシの効いたきりたんぼ鍋は新鮮野菜もたっぷり入って熱々をいただきます。

☆ ソウルで焼肉 ☆

車椅子対応車両もちろん利用可能です。食事はその場で食べたいものを途中のレストランというわがままもOKです。現地ガイドさんが知り尽くした情報で初めての方もリピーターさんも満足旅行です。

■申し込み・問い合わせ■

観光庁長官登録旅行業第735号 日本旅行業協会正会員
(株)チケットラベルセンター ハートTOハート
〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6F
TEL:052-222-7611 FAX:052-212-2778

【月～金 10:00～18:00 土日祝休】

<http://www.tictravel.co.jp>

〔担当〕松本：matsu@tictravel.co.jp

あいち旅サポートセンター



こんにちは、旅サポートセンターです。紅葉シーズンという旅行にはもってこいの季節になりました。皆さんもどこかにでかけませんか。

先日、静岡県掛川市にある掛川花鳥園へ行ってきました。フクロウやカモ、ペンギンと記念撮影ができたり、柵やゲージがないので、鳥達に直接餌をあげ触れ合うこともできます。バスの駐車場から入口まではフラットですが緩やかな坂になっていて距離を感じました。入口前で乗降しています。入口を入ると売店、右側には救護室と多目的トイレがあります。



救護室

進んで行くと透明な暖簾のような仕切りがあり、これが意外と重たいのと、上りになっているので、車いすの方一人だと進みにくいと思います。抜けると記念写真を取れるスポット(花をバックにベンチと日付の入った置物)があります。バードショーの会場は平坦で、車いす用のスペースが設けられています。園内も平坦ですし、いろいろな鳥たちが間近でみられますよ。



バードショー



第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会 バスツアー参加者募集中！

日付：12/9(金)・10(土)・11(日)

コース：①あいち大会+小牧ワイナリー訪問

②あいち大会+介助犬総合訓練センター訪問

③オーダーメイドコースです。

ぜひこの機会にご友人をお誘い合わせの上お申し込み下さい！詳しくは大会HPを。

障害者芸術・文化祭

検索

さわ かん せい

騒げ、感性。

あいち大会は、芸術が、作る人、見る人、そして、障害のある人、ない人の心を変える大会を目指し、全国から障害のある方の美術、文芸作品、音楽やダンス等の舞台芸術を募集し、発表する大会です。バスツアーでは、あいち大会だけではなく、ワインの試飲や製造過程、介助犬のPR犬によるデモンストレーションなども見る事ができます。

旅サポーターと一緒にでかけましょう！

<モデルプランの特徴>

- ◎ご希望でヘルパー資格を持った旅サポーターが同行します。
- ◎車いすでご参加いただけます。(ウェルキャブ車種の関係で普通座席への移乗が必須となる場合があります。)
- ◎介護タクシーコースは1名様から参加できます。使用車種により1台に2～9名様の乗車が可能です。
- ◎介護タクシー、公共交通機関を利用します。
- ◎バリアフリーに配慮した行程でご案内いたします。
- ◎期間中、都合の良い出発日を選んでいただけます。お時間はご希望に合わせて調整します。
- ◎ご家族、ご夫婦など、介助の必要のない同伴者様も追加代金にてご参加いただけます。
- ◎ご自宅や最寄り駅へのお迎えも可能です。(別途交通費が必要な場合もあります)
- ◎旅行代金は大人お一人様の金額です。

モデルコース1

◇近鉄特急で行く！お伊勢さん◇

名古屋駅	■	伊勢市駅	——	伊勢神宮外宮	——
9:00 発					
——	おはらい町/おかげ横丁	——	伊勢神宮内宮	——	
(昼食)					
——	宇治山田駅	■	名古屋駅		
18:30 頃着					

<利用交通機関> 近鉄電車・バス

<出発日> 12/22(木)までの平日

土日祝日希望の場合はお問合せください。

<旅行代金> 28,000円(お一人様)

<旅行代金に含まれるもの>

行程中の交通費、昼食代、旅サポーター同行費用

<同伴者追加代金> 8,000円(ご同伴1名様につき)

モデルコース2

◇京都の秋◇新名所將軍塚「清龍殿」を訪ねて

ご自宅発	——	將軍塚清龍殿	——	東山	——
7~8:00 発					
(昼食)					
——	東福寺	——	伏見稲荷	——	ご自宅着
17~18:00 着					

<利用交通機関> 介護タクシー

<出発日> 12/10(土)頃まで

<旅行代金> 21,500円から(1名様参加の場合)

<旅行代金に含まれるもの> 行程中の交通費、入場料。

ご希望により旅サポーター同行(有料)。

昼食代は含みません。(自由食)

あいち旅サポートセンター

TEL (052)582-2164

e-mail: tabisupport@mwt.co.jp

(受付時間: 9:00~18:00 土・日・祝日は休業)

〒450-8577 名古屋市中村区名駅南2-14-19

住友生命名古屋ビル8F

名鉄観光サービス株式会社

観光庁長官登録旅行業第55号 日本旅行業協会正会員

い ろ い ろ 情 報

ひかり鍼灸院 東洋医学体験談



ひかり鍼灸院のマッサージを受けられた方から、体験談をいただきました。ひかり鍼灸院さん（最後のページに広告掲載）は、健康保険が使える訪問マッサージ・リハビリです。お困りの方は、お気軽にお電話を！

施術の経過報告

施術者 鍼灸マッサージ師
患者名 K.S (89 歳) 2014 年秋開始

今年 89 歳になる母が週 2 回のリハビリを受けるようになり 2 年近く経ちます。最初は良くなる訳でないからと嫌がっていましたが今では心待ちにしているようです。

先生も気軽に声を掛けてくださり毎回同じような話しをする会話が初めて聞くようにしていただき、あまり話しをする事のない母の先生との会話が心のリハビリになっているのではないかと思います。

年齢の事もこれ以上の回復は望めなくてもリハビリにより少しでも筋力の衰えを遅らせ動ける状態を維持する事が大事だと考えております。本人も気分の良い時にはベットの中で手足を動かす努力をしているようで、いつまでつづくかわかりませんがこれからも身体と心のリハビリは必要ですので宜しくお願いします。

✂
**体験クーポン
無料券
マッサージ
または鍼灸
20～25 分**

当院を利用される方は、病名に関わらず歩行困難の方や寝たきりの方が対象です。

1 回体験（マッサージまたは鍼灸 20～25 分）中です。こちらの「体験クー

ポン無料券」を、マッサージの担当者へ渡して下さい。

緑区 ひかり鍼灸院

検索

入院中のヘルパー派遣について

筋ジス病院等の療養介護利用者も 重度訪問介護で外出できます！

入院中の外出や外泊時に重度訪問介護や同行援護の利用が OK という国の通知がやっと出ました。これまで何十年もの間、これを認める市町村や認めない市町村があって、「認められていない市町村の視覚障害者が困っているからなんとかせよ」と、視覚障害者の団体から国に要望があったそうです。

今回の通知では、視覚障害者の同行援護のほかに、重度訪問介護と行動援護も網羅して通知されています。

今回、「入院中に重度訪問介護で外出や外泊が可能になる」という国の通知をうけて、地域移行支援の団体から質問があり、厚労省に詳しく聞いたところ、筋ジス病院などの療養介護対象者も、外出や外泊を重度訪問介護で使えるそうです。「病院」ならどんな病院でも対象だそうです。

しかし、入所施設の「療養介護」利用者は施設なので対象外。なぜなら、施設は外出も含めて施設が 24 時間担当するという別のルールが残っているからだそうです。

これは今後の課題だそうです。

まずは、病院に長期入院中の障害者には大きなニュースです。



（情報元：全国障害者介護制度情報）

全国障害者介護制度情報

検索

第3回 成人脳性マヒ者2次障害相談会

ノーマライゼーションの概念が浸透し、様々な努力により障害者の社会参加は増加したように思われます。しかし、社会生活を共にするのが本来であるはずが、2次障害により余りにも早くリタイヤし、生活の変化を余儀なくされている人も多いのが現状です。これからは、障害を持っても長くその能力を維持し、社会生活を営む努力と方策が必要です。

開催日：2016年12月11日（日）
12:30 受付開始 13:00～16:00

会場：サマリアハウス
名古屋市昭和区恵方町 2-15
TEL:052-841-5554

参加料：無料（定員：50名）

内容：テーマ「頑張れ人生からの脱却」
～予防とくらし方

1. 講演
「障害ってな～に」
ーこれからの人生のために
講師…浅井 貴代子
「経験者からの体験と視点」
講師…森 美親
2. 医療サポート
講師…万歳 登茂子
3. 相談会・意見交換会

申し込み・問い合わせ先：

コスモス福祉会あすか 理学療法士 前田勝彦
E-mail：kamm22000@yahoo.co.jp
FAX：0572-23-6780（自宅）

※お名前、年齢、連絡方法、車いす利用の有無等を上記へご連絡ください。

主催：脳性マヒの2次障害実態調査実行委員会
TEL：076-444-3753
FAX：076-407-5557

成人脳性マヒ者2次障害相談会

検索

第13回 AJU ワインフェスタ in 多治見修道院



多治見修道院では、小牧ワイナリーの障害のある仲間たちが葡萄を作り、ワイン作りのお手伝いをしています。

このワインフェスタは、そんな仲間たちが一年を通してぶどうを育て、ワインを作り、自立に向かっていく成果を発表する場として開催されています。

多治見修道院ワインをはじめ、世界の修道院ワインを味わいながら、多彩なゲストにご協力をいただき、様々なイベントと美味しい料理とともに、楽しい時間をすごしていただくイベントです。

日時：2016年11月3日（木・祝）雨天決行
開場 9:30～

時間 10:00～14:30（予定）

会場：多治見修道院

参加費：前売券 3,000円 当日券 3,500円
ワイン1本付き

（未成年者入場無料・ソフトドリンク有料）

※未成年者と運転される方の飲酒は堅くお断り致します。

❖当日、お客様用駐車場は用意しておりません。
公共交通機関をご利用ください。

❖JR多治見駅北口よりシャトルバス（午前9時から）随時運行。徒歩の場合、約30分。

問い合わせ先：小牧ワイナリー

TEL：0568-79-3001

FAX：0568-79-3002

E-mail：komakiwinery@aju-cil.com

AJU ワインフェスタ

検索

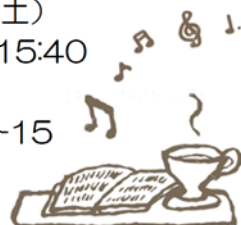
第4回 サタデーくらぶ 音楽の小箱と手のひら文庫

素敵な音楽と天ちゃんこと天野鎮雄さんや劇座のメンバーが演じる演劇、朗読を、地域の皆さんと一緒に楽しむ午後のひととき「サタデーくらぶ」。
ぜひ、お友だちと一緒に除いてみてください。

開催日：2016年11月26日（土）
13:00 開場 14:00～15:40

会場：サマリアハウス
名古屋市昭和区恵方町 2-15
TEL:052-841-5554

参加費：無料（申込み不要）



ずーっと続けてく被災障害者支援 東北⇄関西ポジティブ生活文化交流祭

この東北被災障害者救援活動は、5年、10年では終わりません。そのためには、多くの人たちの息の長い協力が必要です。

阪神・淡路大震災を経験した関西から東北へ、何ができるのか？ みんなで集まり、みんながそれぞれの思いをおしゃべりしあう機会を、ということで、この「ずーっと続けてく被災障害者支援東北⇄関西 ポジティブ生活文化交流祭」が企画されました。

今年のテーマは『広くつながる』。

東北のこともまだまだ応援していく。九州にも足を運ぶ。いつでもどこかでつながることができる。

関西と東北と九州の障害者と支援者が年に1回集まり、来場者も巻き込みながら出展や交流をするお祭りで、今年で7回目。関西各地のいろんな分野で活動している50の団体・チームが出展します。

関西発の被災地支援団体による活動紹介や東北や九州物産展もあります。【被災障害者救援チャリティ・バザー】も出展。

楽しく掘り出しものを見つけたり、買い物したり、そこで出会った人同士でおしゃべりしたり…。子どもたちが遊んで楽しめるブースもあります。

地域も立場も越えて、みんなが知り合うことが、いざというときに大きな力になるという思いで、2011年から開催されています。

今年は熊本地震があり、九州の方々にも声をかけ、開催されます。ずーっと続けていく被災障害者支援を今年も一緒に交流して盛り上げましょう！

BCP Vol. 5 ～今回のテーマ「決断」 障害者/支援と避難 あなたの「決断」は…

「東北⇄関西 ポジティブ生活文化交流祭」の前夜祭！

障害者・介助者・事業、それぞれの立場と自分自身の生活…。大地震が発生したとき、あなたはどうか考え、どう判断し、どう動くのか。それぞれの立場から、どう「決断」するのか～YES/NO？をみんなで話します。

被災地障害者センターくまもと共同代表の倉田哲也さんと、ゆめ風基金の八幡さんの、熊本地震と障害者支援報告もあります。

日 時：2016年11月22日（火）
18:00～20:00

場 所：大阪市立長居障害者スポーツセンター
2階会議室

定 員：80名

参加費：入場料無料

※手話通訳あり

申込先：日常生活支援ネットワーク

TEL・FAX 06-4400-4387

E-mail: p2party2@gmail.com

※終了後（17:30～19:30）、東北⇄関西交流会を開催。

東北⇄関西 ポジティブ生活文化交流祭

日 時：2016年11月23日（水・祝）

11:00～16:00

※雨天決行 荒天中止

会 場：長居公園自由広場

大阪市東住吉区長居公園 1-23

アクセス：地下鉄御堂筋線長居駅より徒歩3分

JR長居駅より徒歩5分

入場料：無料



問合せ・主催：

「東北⇄関西ポジティブ生活文化交流祭」実行委員会

事務局：

日常生活支援ネットワーク（担当：椎名）

大阪市浪速区敷津東 3-6-10

TEL&FAX 06-4400-4387

E-mail: p2party2@gmail.com

障害者権利条約・東京 2020 オリパラ 対応のバリアフリー法の改正を！

この10年間で、国内外で障害者の権利に関わる法制やバリアフリー整備の基準は大きく変化。世界的には2006年に障害者権利条約が採択、国際的なバリアフリー整備基準であるIPCアクセシビリティ・ガイドが策定されました。これを踏まえ、国内的には大会施設のバリアフリー整備基準をまとめた東京アクセシビリティ・ガイドラインの策定も進められています。世界の基準に合わせたバリアフリー法の見直しが求められていますが、2000年に成立し、2006年の改正以降は、2010年度に基本方針（整備目標）を改めただけで、大きな改正はありません。今秋から各種検討会が立ち上がり、議論が進められています。我々としては検討会だけで終わらせることなく、バリアフリー法の改正につなげていきたいと考えております。

日時：2016年11月11日（金）11:00～13:00

場所：参議院議員会館 1階 講堂

東京都千代田区永田町 2-1-1

定員：200名

参加費：無料

資料代：カンパ

情報保障：手話通訳・パソコン文字通訳・
点字資料あり

★事前申し込みが必要です。

下記メールまたはファックスでお申し込み下さい。
ご送付の際は、お名前、お名前のふりがな、ご所属（あれば）、ご連絡先（電話番号、メールアドレス）、情報保障（手話通訳・PC文字通訳・点字資料・テキストデータの希望の有無をご明記の上、お送りください。）

E-mail dpibarrierfree@gmail.com

FAX 03-3676-7425

内容：

講演1/権利条約の時代のバリアフリー法を考える

講師：川内 美彦 氏（東洋大学教授）

講演2/バリアフリー法改正のポイントと課題

講師：尾上 浩二（DPI日本会議副議長）

主催：DPI日本会議

お問合せ先：自立生活センターSTEP えどがわ

（担当：土屋）

東京都江戸川区南篠崎町 3-9-7

電話：03-3676-7422

FAX：03-3676-7425

NHK ハートフォーラム 実は身近な発達障害 「お互いさま」でいこう ～社会は違いでできている～

毎年恒例の『実は身近な発達障害』シリーズ
今年もNHK 厚生文化事業団中部支局、NHK 名古屋放送局と共催で市民向け講演会を開催します。

日時：2016年11月27日（日）

13:00～16:30（12:30～受付）

場所：鯉城ホール

名古屋市中区栄 1-23-13 伏見ライフプラザ5階

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」6番出口より南へ徒歩7分

地下鉄鶴舞線「大須観音駅」4番出口より北へ徒歩7分

※ 会場へは市バス・地下鉄でお越しください。

参加料：無料

定員：600名

（応募者多数の場合は抽選の上、後日通知します。）

出演者：「発達障害と暮らす一当事者・支援者・
家族の立場から」／村上由美さん（言語聴覚士）
「発達障害を生活障害に置き換えて考える」／田
中康雄さん（こころそだちのクリニック・むすび
め 院長）

申し込み方法：インターネット（電子申請）また
は往復ハガキ（一枚で一名分）のいずれかで申
し込み下さい。

申込期間：2016年9月5日（月）～10月28日（金）
（当日消印有効）

- ・インターネット（電子申請）の場合：
名古屋市電子申請サービス（外部リンク）より
お申し込み下さい。
- ・往復はがきの場合：申込ハガキは、一枚で一名分
有効です。ご家族など複数で参加される場合でも、
お1人ずつ別々に御申し込みください。
往信面/「講演会参加希望」と明記し、氏名（ふ
りがな）、住所、電話番号、職業を記入の上、
往復はがきで「名古屋市発達障害者支援セン
ターりんくす名古屋」までお申し込み下さい。
※車いす席等、配慮が必要な方はその旨お書きください。
返信面/表面は、返信先の住所・氏名をお忘れ
なくご記入ください。裏面は、何も書かずに
お出しください。（申込締め切り後、抽選結
果を返信いたします。）

あて先及び問い合わせ先：

〒466-0858

名古屋市昭和区折戸町 4-16

名古屋市発達障害者支援センターりんくす名

古屋「11月27日」係

TEL：052-757-6140

主催：名古屋市発達障害者支援センターりんくす
名古屋・NHK 名古屋放送局・NHK 厚生文
化事業団中部支局

訪問マッサージ・リハビリ

自宅療養・歩行困難の方が対象です。寝たきりゼロのためにご利用下さい。

健康保険が使用できます
(医師の同意が必要)



(株)東洋医療グループ
ひかり鍼灸院

緑区鳴海町字大清水 69-1029

☎ 0120-56-0348

<http://www.hikarisinkyuin.com>

お気軽にご相談下さい。担当／牧野

そらいろ工房

一級建築士事務所

“バリアフリー住宅”にこだわる設計事務所です。
車いす利用者の方のより良い住まいを一緒に考えます。

受賞歴
わが家のリフォームコンクール最優秀賞
あたたかな住空間デザインコンペ最優秀賞
ハウスアダプテーションコンクール佳作
愛知まちなみ建築賞

おご
気相
軽談
には
ど無
う料
ぞで
。す
。



〒466-0012

名古屋市昭和区小桜町3-11

TEL: 052-741-2907

FAX: 052-741-2760

そらいろ工房 井上義英

車いすに乗ったまま「行きたい!」をかなえる



介護タクシー ところ

でんわ 090-9184-5515

名古屋市千種区新池町2-22-8

tel/fax 052-782-3172

編集後記

10月初旬のある日、我が家の夕食です。秋刀魚の塩焼き、里芋の煮つけ、栗ごはん、松茸の吸い物。これぞ、日本の秋ですね。

日が暮れるのもだんだん早くなり、秋の夜長、最近ではスマホのゲームに興じる人も多いでしょう。でも、ほどほどにね。そうしないと、目を悪くしますから。

そういえば、この夏は、金メダルこそ取れなかったものの、リオ・パラリンピックで盛り上がりしました。4年後の東京大会が楽しみです。

そんなこんなの情報を今後とも載せていきますので、読者の皆様からのご意見、ご要望などをどしどしお寄せください。

(ナベ)



医療相談室

長年、診療機関で障害がある仲間の医療ケアに携わってみたい、リハビリテーション医の万歳登茂子先生のご協力で開設。

《相談日》11月12日、26日

12月10日、17日

いずれも土曜日、予約制、30分程度
時間は要相談

《対象》障害がある人

《費用》無料

《受付》自立生活情報センター

TEL 052-841-6677

FAX 052-841-6622

E-mail johoc@aju-cil.com

《場所》名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福)AJU 自立の家 サマリアハウス内相談室



やさしい住まいの支援ネット

障害当事者、福祉、医療、建築関係者が有志で開設し、住宅の改造などの相談に対応。

《相談日》11月5日、19日

12月3日、17日(要予約)

いずれも土曜日、午後1時半から
事前にご連絡下さい

《費用》無料

《受付》サマリアハウス 浅井

TEL 052-841-5554

FAX 052-841-2221

E-mail sumai-sien@freeml.com

URL <http://sumai-sien.com>

《場所》名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福)AJU 自立の家

サマリアハウス内



福祉情報誌オンラインショップ

AJU福祉情報誌オンラインショップを開設しました。あなたの家まで年間購読や最新各号のバックナンバーを郵送するだけでなく、インターネットからダウンロード販売も行えるようになりました。

お支払方法は次の3つです。

- ① 銀行振込(ゆうちょ銀行)
- ② 郵便振替
- ③ カード決済(Paypal)

問い合わせ先:

AJU福祉情報誌発行委員会(担当:水谷)

URL: <http://fjoho.cart.fc2.com/>

TEL: 052-841-9888

FAX: 052-841-3788

福祉情報誌オンラインショップ

検索

※年間購読でダウンロード版をご希望の方は、
編集部までご連絡ください。

E-mail: f-joho@aju-cil.com



情報募集中!

障害福祉制度への意見、町で見つけたアクセシブルな穴場、あれ?ちょっとおかしいな?と思う車いすトイレの造り、親切なお店、グルメなお店、みんなに聞いて欲しい事件などなど、皆さんからの情報をお待ちしています。

ぜひぜひ、編集部までご連絡下さい



■編集部

TEL 052-841-9888

FAX 052-841-3788

E-mail f-joho@aju-cil.com

お待ちしております

年間購読料 1,500円

隔月発行

振込先(郵便局にて振込)

加入者名: 福祉情報誌発行委員会

口座番号: 00890-0-90573

お問い合わせ・購読中止のご連絡は、こちらまで

TEL: 052-841-9888

FAX: 052-841-3788

E-mail: f-joho@aju-cil.com